(マタイ伝二十二章三十五~四十節)いている。」

九州看護福祉大学 就職説明会

学生さんたち向けの就職説明会がありました。愛隣園からは 生さんを見て、 二回目の参加でしたが、ピシッとスーツを着て参加される学 九月十六日に玉名司ロイヤルホテルにて三年生四年生 こちらが緊張してしまうほどでした。 の

やケアワー た。児童養護施設へ関心のある学生さんたちが興味深く聞 くださいました。 十五名の学生さんが話を聞きに来てくださり、 カー の仕事の内容などお話させていただきま 施設の概要

11

学生さんからは、 いと思ってくださる学生さんたち。 質問もいただきました。就職を見据え、施設のことを知りた 相談業務もできるんです か?など具体的 な

ただけたら…!と思える貴重な時間でした。 私たち職員も改めて愛隣園のことを振り返り、 い機会になりました。ぜひ、 児童養護施設に興味を持 考え伝える









NY さん作 『園長トトロ』

法人創立

記

日に寄せ

て

施設長

迎田浩二

守ら

五

愛隣園だより 19 発行責任者 迎田 浩二

愛隣園

基本理念

再度、地域の皆様、 ミュニティ 以前、 連の事業報告や相互の情報交換、 老会の開催等行っておりました愛隣園地域コ んに知ってもらおうと愛隣応援団や地域の敬 日頃の感謝と児童養護施設をもっと皆さ 愛隣園サロンを開催します) かる サロン』Re ホ ルの利用について、 団体をお呼び start また会場の して、 本年から 児童関

交流を深めてま 点施設として皆様との どうぞ宜しくお願い いと考えております。 たします。 いり

れが最も重要な第一の掟である。

隣人を自分のように愛しなさい。』も、これと同じように重要である。

法全体と預言者は、

この二つの掟

尋ねた。「先生、律法の中で、どの掟が最神法の専門家が、イエスを試そうとして

提供等々を行

た

いと思います

今後、子育て、里親支援をはじ

め、

地域の

つぞ伝产三章三九節

繋がるよろこび 愛隣園サロン 地域コミュニティーホール 今和7年度 児童養護放役 愛隣日

日頃から感謝に堪えない思いであります。

ボランティア DAY キャンプ

わりを通してまた少し成長できたように感じます。 びの中での飛び込みチャ ちは大人の心配はよそに元気に水遊びを楽しみました。水遊 にご参加いただきました。場所は去年と同じ、『奥矢谷渓谷マ も低かったので大丈夫かなと心配していましたが、子どもた んとデイキャンプを行いました。今年は六名のボランティア ーネイン 今年も九州看護福祉大学の学生ボランティアのみなさ チャ レンジや、ボランティアの方との いにく天気はくもり時々雨。水温 関

切っていました。マシュマロも一緒に焼いたりおやつにはス を手伝いボランティアの人達をおもてなし。いつもより張り 水遊びの後はみんなでバ 力を食べたりと大満足。 ベキュー。子どもたちも焼くの

ください も寒い中大変お疲れ様でした。また機会があればぜ とても楽しい一日となりました。ボランティアのみなさん ひご参加



デイキャンプ BBQ



デイキャンプ水遊び

~温かいご支援に感謝申し上げます~

九州アイスクリーム協会様 愛隣荘様 愛隣の家様 マルハン山鹿店様 山崎製パン株式会社様 自習ノート事務局様 清原正一様 清原優紀子様 株式会社講談社·児童図書出版部様



マルハン山鹿店様より

出祭り 生)の 制度利用させてもらっています)に開催されます。 事)では、毎年、巫女舞をはじめ、子ども達のダンス 用水路が完成したことを感謝して斎行されている行 発表や法人の職員によります出店等々、 景行天皇の時代 今年は法人内、 業三種(四施設)全職員で集い祝う日でもあります。 立から七十五年目を迎え、 き、和やかなひと時を過ごさせていただい 職員も地域住民として温かくその輪に加えていただ (日頃から児童通所支援事業所には五名程の児童が 令和 地域の皆様の本事業に対するご理解とご協力に これはほんの一例でありますが、 ました地元 命日でもあるこの日は、昭和二十五年法人創 七年十月二十二日、 (約二百年前に作られた約四キロに及ぶ灌漑 の神社 障害者支援施設の通所事業所を会場 (西暦七十一年~百三十年)に創建 「彦岳宮」で行われました井 理事他、 初代理事長(三浦八水先 先日、 法人関係者、 子ども達、 7 第十二代 います。

され

第19号(3)

〈社会福祉法人 愛隣園 児童養護施設 愛隣園〉



和城建設こども祭り





愛隣園田植え



愛隣園田植え



田植え後足洗会



夏休み水遊び



男子ハウスレクリ





海水浴 法人ふれあい多



法人ふれあい祭り



法人ふれあい祭り 職員出し物

先日の新人職員による法人ふれあい 祭りでは大きなステージに立ちダンス 発表をさせて頂きました。練習のとき は中々揃わず大変でしたが、みんなで 声を掛け合い、励まし合いながら本番 を迎えることができました。会場の温 かい拍手に支えられ、仲間と一緒に頑 張る喜びを実感しました。今回の経験 を、今後の仕事にも活かしていきたい と思います。 I 年目 CW 古田紗也夏





夜の動物園レクリエーション

思い出いっぱいの夏休み

暑い日が続いた夏休み、私にとって愛隣園の 子どもたちと初めて過ごす夏休みでした。

日々元気溢れる子どもたち。園庭に出ると虫探 しをしたり、水鉄砲やボールで遊んだりと毎日違 った遊びを提案してくれます!虫を捕まえたいけ ど「こわいな…」とドキドキしている様子や、大き な水鉄砲を構えてはじける笑顔で職員を追いかけ る様子など、子どもたちの初めての表情に出会い ながら夏ならではの遊びを楽しみました!

また、学年やハウスごとに様々なレクリエーシ ョンもありました。未就学児のレクリエーション

では夜間に開園している動物園へ行きました。子どもたちは沢山の動物を目の前にして大喜び!乗り物にも乗り、 空が暗くなってくるとピカピカ光るおもちゃを手にして動物園を大満喫の一日でした。これから変わりゆく季節を 愛隣園で感じ、またその季節ならではの行事に子どもたちと参加する日が楽しみです! |年目CW 古閑かりん

初めての職員旅行に参加し、長崎県へ行くことで楽 しく多くのことを学びました。他施設見学も初めてだ ったため、愛隣園との違いや子ども達への関わりを客 観的に見直す機会になりました。

見学させて頂いた施設では敷地内に保育園や認定こ ども園があり、グラウンドを地域へ解放しているなど 周辺地域との関わりが深いことを学ぶことができまし た。施設の子ども達は地域住民から支えられ、地域の子 ども達も施設でサポートをすることで相互的な関係を 築くことができていると感じました。

そして愛隣園では「如己愛人」の言葉を掲げているこ とから、キリスト教の文化が多くある長崎県で聖書の 基本理念である「己の如く汝の隣人を愛せよ」の言葉を 深く理解する機会になりました。



かかわりが少ない職員の先生方と職員旅行に参加することで親睦を深めることができ、 今後は肩の力を抜いて先輩方を頼ることができると感じました。 初参加の職員旅行で多くのことを学ぶことができ、とても良い機会になりました。 I 年目 CW 村上大陸